

コンクリート構造物の欠損補修用軽量エポキシ樹脂モルタル



ボンドKモルタルクイック

●低温硬化性良好

ボンド Kモルタルクイックは低温時の施工性、低温硬化性および常温速硬化性に優れた軽量エポキシ樹脂モルタルです。低温時の施工や短時間内に補修を完了する必要のあるコンクリート構造物の欠陥部充填補修に優れた効果を発揮します。

JAIA-003934 F☆☆☆☆

■用途

コンクリート構造物の欠損や露出鉄筋部の補修および不陸修正用エポキシ樹脂モルタル
施工時間が制約されるコンクリート構造物の補修（供用中の橋梁やトンネルの躯体補修、ゴンドラ作業による高層ビルの外壁補修等）

■特長

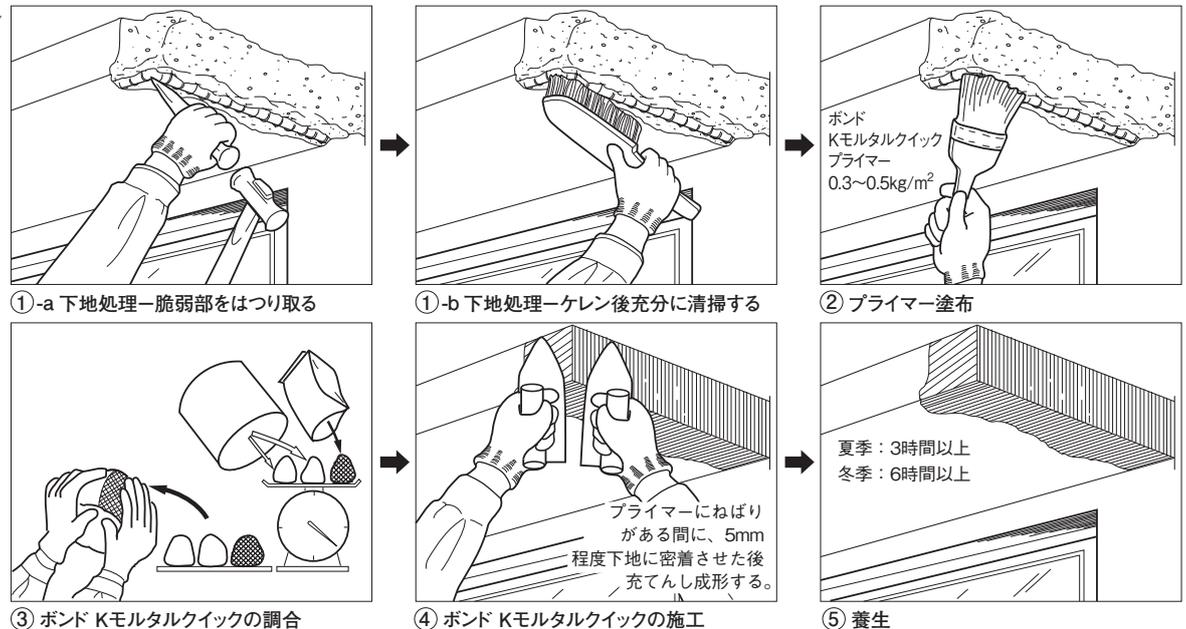
軽量モルタル：比重が0.8以下と軽いため、垂直面、天井面でもダレがありません。
作業性：成形性が良好で、薄塗りから厚塗りまで施工できます（1回の最大施工厚さ20mm）。
耐久性：下地に強力に接着し、耐久性に優れます。
速硬化性：短時間で初期硬化するため（3～4時間/20℃、1～2時間/30℃）、高所作業車の移動や交通規制解除を短時間でできます。

■性状

項目	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン・変性脂肪族ポリアミン
外 観	灰白色パテ状	灰黒色パテ状
混 合 比	主剤：硬化剤＝2：1（質量比）	
可 使 時 間	30分 (300g/10℃)	15分 (300g/20℃) 5分 (300g/30℃)

※数値は規格値ではありません。

■施工方法



- 一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれぬ量にしてください。
- 器具類に付着した樹脂は、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。
- 充填量は最大20mm厚を目安に行ってください。（厚付すると反応熱によりハラミが出る場合があります）
- 施工後、速硬化が必要な部位はボンド Kモルタルクイックプライマー（防錆材入り）を使用してください。（時間制約が無い場合はボンド E200、ボンド ユニエポ®補修用プライマーでも可）
- 低温時は硬化が遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。
- 硬化剤開封後は出来るだけ早く使用してください。また、パッキンをしっかり閉めてください。

技術データ

1. 建築改修工事監理指針における欠損部充てん用
エポキシ樹脂モルタルの品質基準(案)に基づく試験

試験項目	品質基準	測定値例
外観、 コテ塗り等	均等で、異物の混入のないこと。コテ離れがよく、曲げ試験体が容易に成形できること	合格
曲げ強さ	3日後の値が10N/mm ² 以上	14N/mm ²
接着強さ	破壊はコンクリートで起こり、又は1.0N/mm ² 以上	2.5N/mm ²
ダレ	形状に異状がなく、ダレが生じないこと	合格

※監修：国土交通省大臣官房官庁営繕部、発行：(財)建築保全センター

2. ボンド Kモルタルクイック硬化物の性能規格(社内規格値)

試験項目	規格値	測定値	試験方法
比 重	0.75±0.05	0.72	JIS K 7112-1999
圧縮降伏強さ (N/mm ²)	20以上	32	JIS K 7208-1995
曲げ強さ (N/mm ²)	10以上	15	JIS K 7203-1995
引張強さ (N/mm ²)	5以上	10	JIS K 7113-1995

※養生：20±1℃・7日間。

3. 使用温度と可使時間および指触硬化性

試験項目	5℃	10℃	20℃	30℃
可使時間(分)	約60	約30	約15	約5
指触硬化(時間)	約8.0	約5.0	約2.0	約1.0

※厚さ：10mmの場合

4. 耐候性(測定値例)(試験方法：JIS R 5201-1997の形状による)

ウエザオメーター 照射時間	210時間 約1年相当	630時間 約3年相当	1050時間 約5年相当	2100時間 約10年相当
曲げ強さ (N/mm ²)	14.3	14.4	14.5	14.1

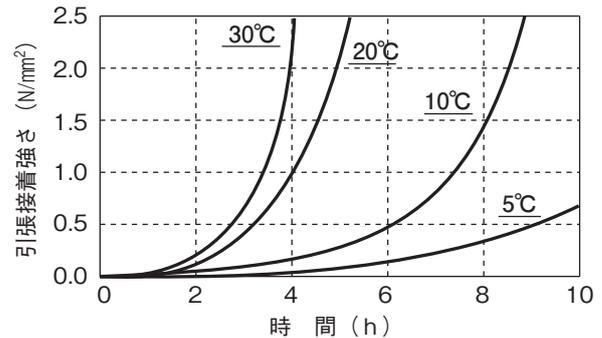
※条件：ウエザオメーターにて一定時間照射後試験。

5. ボンド Kモルタルクイックの経時強さ(試験方法：JIS K 7208-1995に準拠)

経過時間(時間)	4	6	12	24	7日
圧縮強さ (N/mm ²)	5.0	13.4	20.1	27.6	32.4

※養生：20℃±1℃

6. 初期立ち上がり強さ(引張接着強さ試験)



※厚さ：10mmの場合

梱包容量

●ボンド Kモルタルクイック：8Lセット (6kg) セット……2セット入り/1ケース

警告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

注意事項：本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 作業場所は十分に換気する。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。●保管条件：2～40℃以下。使用後密封。●指定された以外の材料と混合しない。●大量に混合すると、発熱し煙が発生したり可使時間が短くなることがある。可使時間以内に使いきれぬ量を混合する。●温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。(記載の性状等は2008年8月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/> 大阪本社 / 〒541-0046 大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) TEL06(6228)2961
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(262)8173 仙台営業所 TEL022(211)5031 南関東営業所 TEL045(663)3184 広島営業所 TEL082(507)1911
福岡支店 TEL092(551)1764 北関東営業所 TEL027(324)3002 金沢営業所 TEL076(223)1565 高松営業所 TEL087(835)2020
札幌支店 TEL011(731)0351